



YAMAHA
Clavinova.

取扱説明書

YAMAHA *Clavinova*®

このたびは、ヤマハ・クラビノーバをお買い求めいただきまして、
まことにありがとうございました。

クラビノーバの機能を十分に生かして演奏をお楽しみいただくため
に、この「取扱説明書」をご活用ください。お読みになったあとは、
いつでもご覧になれるところに大切に保管してくださいませよう、
お願い申し上げます。

CVP-87/85/83の特長

■気軽にアンサンブル
演奏を楽しめる自動伴奏
(オート・ベース・コード
[ABC])機能(→P39)

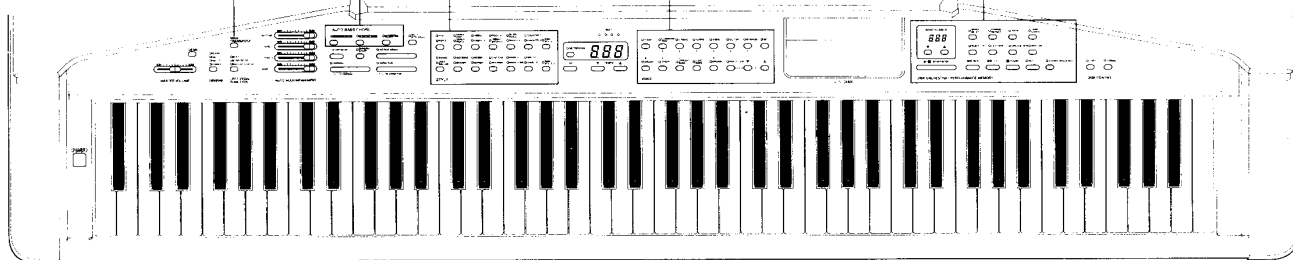
■多彩な74種類
(パネル:24+ディスク:50)
の音楽スタイル(→P32)

■オーケストラやバンド
に合わせて演奏できる
ディスク・オーケストラ・
システム(→P49)

■他の電子楽器と接続
して音楽の世界を広げる
MIDI機能(→P95)

■リアルで豊かな響き
をもつ60音色(→P16)

■自分の演奏を簡単に
録音／再生できる
パフォーマンス・メモリー
(→P63)



正しくお使いいただくために



設置場所

次のような場所でご使用になりますと、故障などの原因となりますのでご注意ください。

- 窓際などの直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に熱い場所
- 温度の特に低い場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 振動の多い場所



お取り扱い

次のようなご使用は、故障や、外装を痛める原因となりますのでご注意ください。

- 物をぶつけたり、上に乗るなど、乱暴に扱う。
- 汚れた手や濡れた手で触れる。
- スライド式キーカバーを乱暴に開閉する。
- 折りたたみ式譜面立てを乱暴に立てたり、倒したり、中間位置で放置する。
- ボタンやスイッチ類に無理な力を加える。



クラビノーバの上にものを置く場合のご注意

次のようなものをクラビノーバの上に置きますと、水がこぼれて故障の原因になったり、外装を痛める原因となりますのでご注意ください。

- 水の入った花瓶や鉢
- 塩化ビニール加工された表紙の本、ビニール製品、プラスチック製品



外装と鍵盤のお手入れ

- お手入れは、フェルト布などの柔らかい乾いた布で乾拭きするか、汚れのひどいときは少し水で湿らせた布で拭いてください。アルコールやシンナーなどの溶剤は、絶対に使用しないでください。
- 市販の化学雑巾や外装手入れ剤のご使用は避けてください。



電源

- このクラビノーバは日本国内仕様です。電源は必ずAC100Vでご使用ください。
- ご使用にならないときは、電源スイッチを切ってください。
- 落雷の危険があるときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 消費電力の大きな機器と同じコンセントを使用したり、タコ足配線をするとき音質が劣化したり、故障の原因となりますのでご注意ください。
- 濡れた手で電源プラグに触れると、感電するおそれがありますので、ご注意ください。
- 電源コードをコンセントから抜くときは、プラグを持って抜いてください。コードを引っ張ると断線やショートの原因となります。



接続

- クラビノーバを外部機器と接続するときや接続コードをはずす時は、スピーカーやアンプの損傷を防ぐため、あらかじめ両機器の電源を切ってください。
- 電源を入れるときや切るときは、あらかじめ両機器のボリュームを最小にしてください。



他の電気機器への影響

ラジオやテレビの近くで使用しますと、ラジオやテレビに雑音が発生することがあります。十分に離してご使用ください。



ディスクのお取り扱い

付属のフロッピーディスクは、非常にデリケートですので、お取り扱いには十分注意してください。特に次の点にご注意ください。

- シャッター部は開けないでください。内部のディスク表面を汚したり、ホコリ、傷などを付けることがあります。
- スピーカーやテレビなど、磁気の強いものに近づけないでください。▶ 60ページ

その他

- クラビノーバの内部を開けたり、改造することは事故や故障の原因となりますので、絶対にしないでください。改造後の保証はいたしかねます。
- 誤って水やその他の液体をクラビノーバにこぼしたり、クラビノーバから異臭や煙が出たときは、すぐに電源プラグを抜き、お買い上げ店または巻末のサービス拠点にお問い合わせください。



保証書

お買い求めいただきました際に、お買い上げ店で必ず保証書の手続きをお取りください。保証書にご購入日や販売店印がない場合、保証期間中でも修理の費用をいただくことになりますので、ご注意ください。

クラビノーバは調律の必要がありません。



音楽を楽しむエチケット

これは日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのマークです。

楽しい音楽も時間や場所によっては気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。隣近所への配慮を十分にしてい快い生活環境を守りましょう。

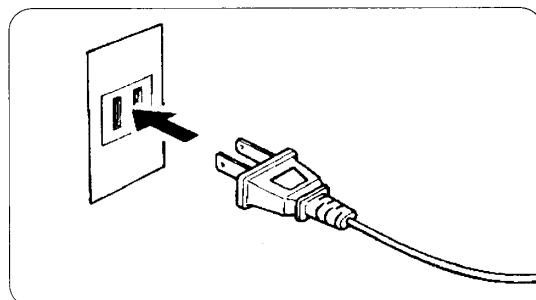
ご使用前の準備

音を出す準備

1

電源コードを接続する

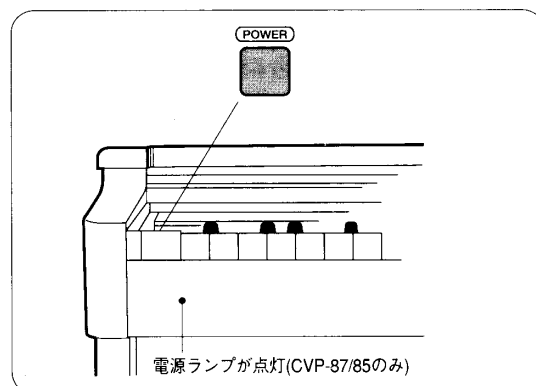
家庭用(AC100V)コンセントに、電源プラグを差し込みます。



2

電源を入れる

電源スイッチを押します。



4

3

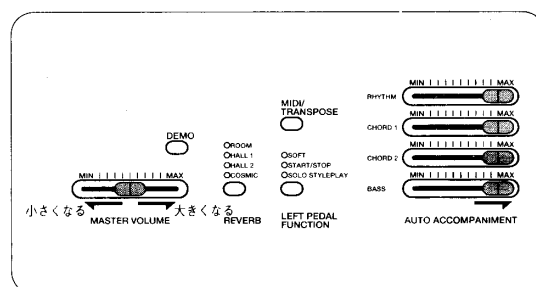
音量を調節する

マスター・ボリューム

[MASTER VOLUME]を中程まで上げておきます。あとは、クラビノーバを実際にお使いいただきながら、調節してください。

[AUTO ACCOMPANIMENT]のボリュームは、通常MAXの位置にしておいてください。

音量調節について詳しくは17ページ(マスター・ボリューム)、37ページ(手弾き音量)、43ページ(アカンパニメント・ボリューム)をご覧ください。



キー・カバーについて

開けるとき

1

少しだけ持ち上げる(持ち上げすぎないように、ご注意ください。)

2

ガイドレールの上をすべらせて開ける

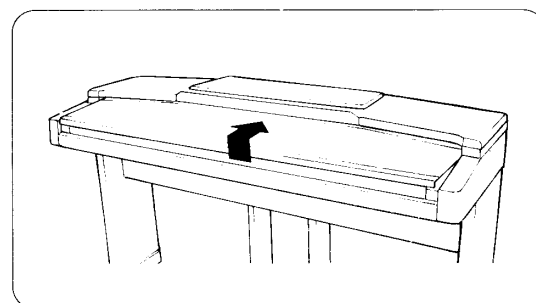
閉めるとき

1

ガイドレールに沿って下へすべらせる

2

手を添えて降ろす



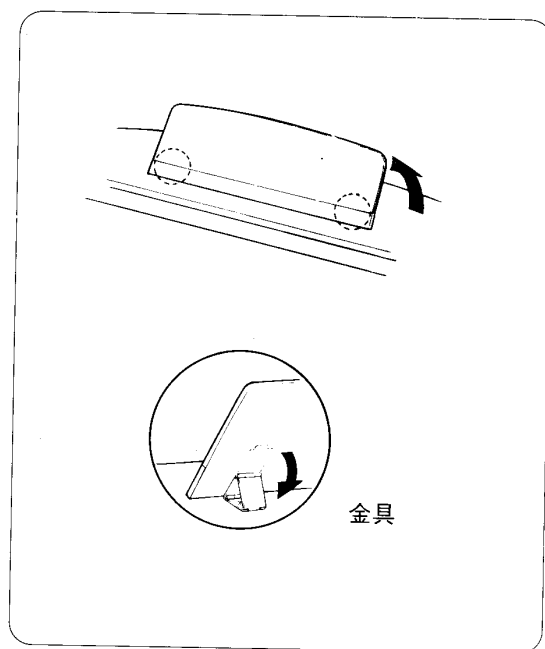
譜面立てについて

立てるとき

- 1 止まるまで手前に起こす
- 2 譜面立て後側の各金具を下向きに開く
(2つの金具が譜面立てを支えます。)
- 3 固定される位置まで戻す

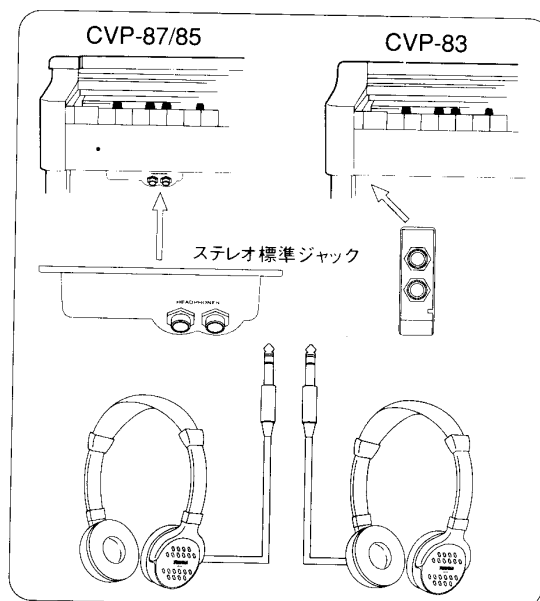
倒すとき

- 1 止まるまで手前に起こす
- 2 各金具を上向きに閉じる
- 3 手を添えてゆっくり倒す



ヘッドフォンの使い方

ヘッドフォン端子に接続して使います。
ヘッドフォンを使うとクラビノーバのスピーカーからは音が出ません。1人で演奏するばかりではなく2本接続して2人で演奏を楽しむこともできます。耳をあまり刺激しないように適度な音量でご使用ください。



付属品 (お確かめください)

●ディスク・オーケストラ・コレクション



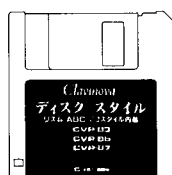
ミュージック・ディスク

ミュージック・ブック

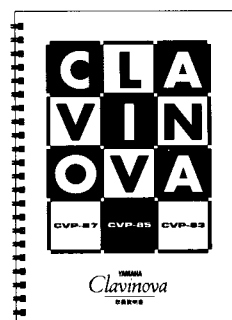
●活用ガイド



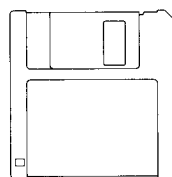
●ディスク・スタイル



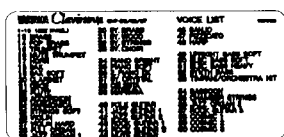
●取扱説明書(本書)



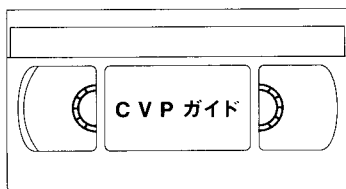
●録音用ディスク(空きディスク)



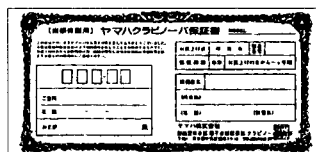
●ボイス・リスト・ステッカー



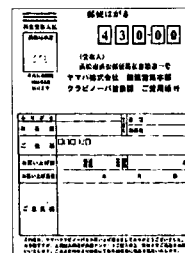
●CVPガイド・ビデオ



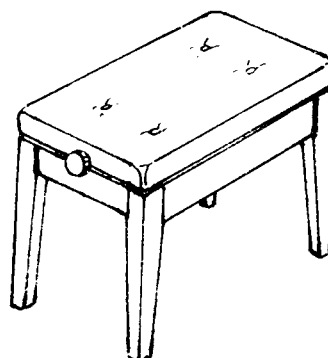
●保証書



●ご愛用者カード



●高低自在椅子 BC-20



もくじ

CVP-87/85/83の特長.....	2
正しくお使いいただくために.....	3
ご使用前の準備.....	4
付属品.....	6
各部のなまえCVP-87.....	8
各部のなまえCVP-85.....	9
各部のなまえCVP-83.....	10
デモ演奏.....	11
デモ演奏をさいてみましょう.....	12
演奏.....	15
1. 音色を選ぶ.....	16
2. 音量を調節する.....	17
3. キーボード・パーカッションで リズム演奏をする.....	18
4. リバーブ(残響)をかける.....	19
5. ペダルを使う.....	20
6. 2つの音色をミックスする (デュアル機能).....	22
7. 鍵盤を2つのパートに分けて弾く (スプリット機能).....	24
8. 音程を変える(トランスポーズ).....	27
9. 他の楽器と音程を合わせる (ピッチ・コントロール).....	28
10. 演奏音の音像定位を変える(パン機能).....	30
伴奏スタイル (リズム・オート・ベース・コード[ABC]) ..	31
1. リズムを使って演奏する.....	32
・リズムを選ぶ.....	32
・テンポ(速さ)を調節する.....	32
・リズムをスタート/ストップする.....	33
・フィル・インを入れる.....	36
・リズム音量と手弾き音量のバランスをとる	37
2. メトロノームを使う.....	38
3. 自動伴奏(オート・ベース・コード[ABC]) を使って演奏する.....	39
・自動伴奏の種類.....	39
・ABCを使って演奏する.....	41
・ABC音量(アカンパニメント・ボリューム) と手弾き音量のバランスをとる.....	43
4. ディスク・スタイルを使う.....	44
5. ソロ・スタイルプレイを使って演奏する	46
ディスク・オーケストラ.....	49
1. 演奏をきく.....	50
2. ディスク・オーケストラといっしょ に演奏する.....	52
3. ガイド・ランプに合わせて練習する (ガイド機能、CVP-87のみ).....	53
4. フレーズを繰り返し演奏する (フレーズ・リピート機能).....	55
5. フレーズの範囲を指定してリピート練習する (A-Bリピート機能).....	57

フロッピー・ディスクについて.....	59
フロッピー・ディスクの取り扱い.....	60
フロッピー・ディスクのフォーマット(初期化)	61
パフォーマンス・メモリー.....	63
ソングの構成について.....	64
演奏を録音/再生する.....	64
ABC/ソロ・スタイルプレイで録音する... ..	66
コード・シーケンスで録音する.....	68
多重録音をする.....	70
フロッピー・ディスクの編集.....	72
・同じディスク内でソングをコピーする..	72
・別のディスクにソングをコピーする... ..	74
・ソングを消去する.....	76
録音/再生のヒント.....	77
応用機能(ユーティリティA/B、その他)	83
他の機器と接続する.....	84
応用機能A(ユーティリティA).....	85
応用機能B(ユーティリティB).....	89
その他の応用機能.....	92
MIDI機能でステップアップ.....	95
MIDIとは.....	96
MIDIシステムのセットアップ.....	97
MIDI機能の設定.....	98
一般的なMIDIデータの再生.....	101
MIDIデータ・フォーマット.....	102
MIDIインプリメンテーション・チャート... ..	109
資料.....	111
各音色の推奨音域.....	112
最大同時発音数.....	114
エラー・メッセージ.....	115
故障かな?と思ったら.....	116
クイック・オペレーション・ガイド.....	117
音色/伴奏スタイル一覧表.....	124
CVP-87/85/83の組み立て方.....	125
仕様.....	130
オプション(別売品)のご紹介.....	131
索引.....	132
サービスと保証.....	134



デモ演奏



演奏



伴奏スタイル(リズム、
オート・ベース・コード
[ABC])



ディスク・
オーケストラ



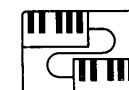
フロッピー・
ディスクについて



パフォーマンス・
メモリー



応用機能
(ユーティリティA/B、
その他)



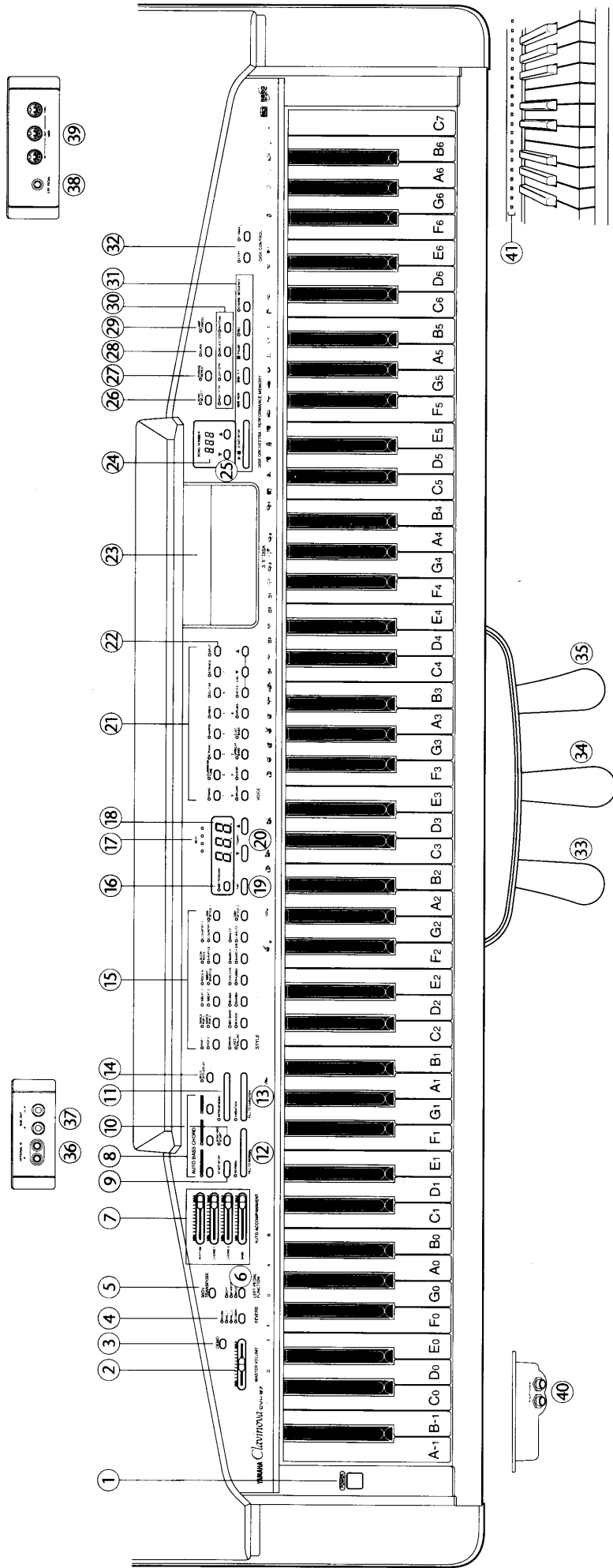
MIDI機能で
ステップアップ



資料

各部のなまえ—CVP-87

8



- ① POWER(電源スイッチ)(→P4)
- ② MASTER VOLUME(マスター・ボリューム)(→P17)
- ③ [DEMO(デモ)]ボタン(→P12)
- ④ [REVERB(リバーブ)]ボタン(→P19)
- ⑤ [MIDI/TRANSPOSE(トランスポーズ)]ボタン(→P27,98)
- ⑥ [LEFT PEDAL FUNCTION(レフトペダル・ファンクション)]ボタン(→P21)

伴奏スタイル(リズム)、オート・ベース・コード[ABC]のコントロール

- ⑦ [RHYTHM(リズム)]ボリューム(→P37)
[CHORD1, 2(コード1, 2)]ボリューム(→P43)
[BASS(ベース)]ボリューム(→P43)
- ⑧ [FULL KEYBOARD, SINGLE FINGER, FINGERED(フル・キーボード、シングル・フィンガー、フィンガー)]ボタン(→P41)

- ⑨ [START/STOP(スタート/ストップ)]ボタン(→P33)
- ⑩ [SYNCHRO START(シンクロ・スタート)]ボタン(→P35)
- ⑪ [INTRO/ENDING(イントロ/エンディング)]ボタン(→P34)
- ⑫ [FILL TO NORMAL(フィル・トゥー・ノーマル)]ボタン(→P36)
- ⑬ [FILL TO VARIATION(フィル・トゥー・バリエーション)]ボタン(→P36)
- ⑭ [SOLO STYLEPLAY(ソロ・スタイルプレイ)]ボタン(→P46)
- ⑮ [STYLE(スタイル)]ボタン(→P32)
- ⑯ [METRONOME(メトロノーム)]ボタン(→P38)
- ⑰ [BEAT(ビート)]ランプ(→P33)
- ⑱ [TEMPO(テンポ)]ディスプレイ(→P32)
- ⑲ [TAP(タップ)]ボタン(→P33)
- ⑳ [TEMPO(テンポ)][▼][▲]ボタン(→P32)

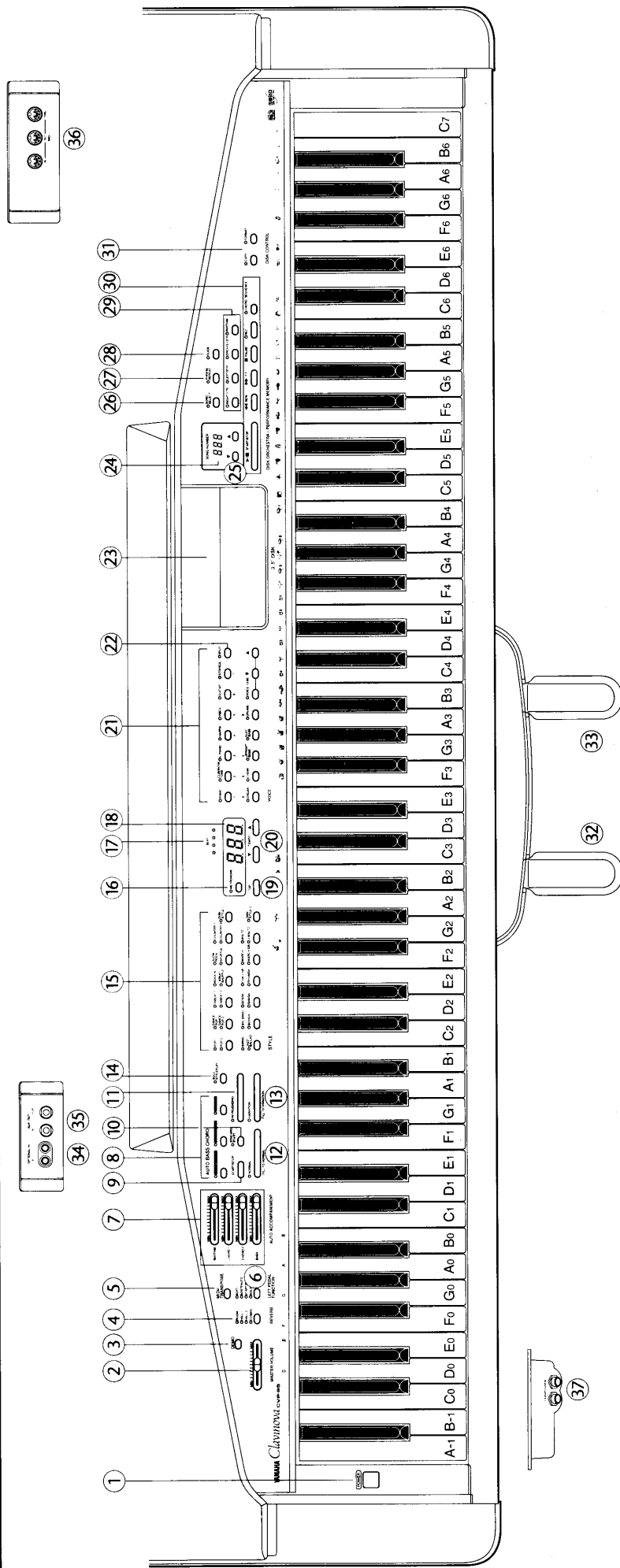
- ㉑ VOICE(音色)ボタン(→P16)
- ㉒ [SPLIT(スプリット)]ボタン(→P24)

ディスク・オーケストラ/パフォーマンス・メモリーのコントロール

- ㉓ 3.5"DISK(ディスク)挿入口(→P60)
- ㉔ SONG NUMBER(ソング・ナンバー)ディスプレイ(→P50)
- ㉕ SONG NUMBER(ソング・ナンバー)[▼][▲]ボタン(→P50)
- ㉖ [SONG SELECT(ソング・セレクト)]ボタン(→P50)
- ㉗ [PHRASE REPEAT(フレーズ・リピート)]ボタン(→P56)
- ㉘ [GUIDE(ガイド)]ボタン(→P53)
- ㉙ [LAMP CANCEL(ランプ・キャンセル)]ボタン(→P50)

- ㉚ パート選択ボタン(→P52)
- ㉛ [DISK ORCHESTRA/PERFORMANCE MEMORY(ディスク・オーケストラ/パフォーマンス・メモリー・コントロール)]ボタン(→P51,65,68)
- ㉜ [DISK CONTROL(ディスク・コントロール)]ボタン(→P62,73)
- ㉝ レフト・ペダル(→P21)
- ㉞ ソステヌート・ペダル(CVP-87のみ→P20)
- ㉟ ダンパー・ペダル(→P20)
- ㊱ OPTIONAL IN(オプション・イン)端子(→P84)
- ㊲ AUX. OUT端子(→P84)
- ㊳ EXP. PEDAL(エクスプレッション・ペダル)端子(→P37)
- ㊴ MIDI端子(→P97)
- ㊵ HEADPHONES(ヘッドフォン)端子(→P5)
- ㊶ 鍵盤ガイド・ランプ(→P53)

各部のなまえ - CVP-85



- ① POWER (電源スイッチ) (-P4)
- ② MASTER VOLUME (マスター・ボリューム) (-P17)
- ③ [DEMO (デモ)] ボタン (-P12)
- ④ [REVERB (リバーブ)] ボタン (-P19)
- ⑤ [MIDI/TRANPOSE (トランスポーズ)] ボタン (-P27, 98)
- ⑥ [LEFT PEDAL FUNCTION (レフトペダル・ファンクション)] ボタン (-P21)

伴奏スタイル(リズム) ボリューム (-P37)
[CHORD 1, 2 (コード 1, 2)] ボリューム (-P43)
[BASS (ベース)] ボリューム (-P43)

- ⑦ [RHYTHM (リズム)] ボリューム (-P37)
[CHORD 1, 2 (コード 1, 2)] ボリューム (-P43)
[BASS (ベース)] ボリューム (-P43)
- ⑧ [FULL KEYBOARD, SINGLE FINGER, FINGERED (フル・キーボード、シングル・フィンガー、フィンガー)] ボタン (-P41)

- ⑨ [START/STOP (スタート/ストップ)] ボタン (-P33)
- ⑩ [SYNCHRO START (シンクロ・スタート)] ボタン (-P35)
- ⑪ [INTRO/ENDING (イントロ/エンディング)] ボタン (-P34)
- ⑫ [FILL TO NORMAL (フィル・トゥー・ノーマル)] ボタン (-P36)
- ⑬ [FILL TO VARIATION (フィル・トゥー・バリエーション)] ボタン (-P36)
- ⑭ [SOLO STYLE PLAY (ソロ・スタイルプレイ)] ボタン (-P46)
- ⑮ [STYLE (スタイル)] ボタン (-P32)
- ⑯ [METRONOME (メトロノーム)] ボタン (-P38)
- ⑰ [BEAT (ビート)] ランプ (-P33)
- ⑱ [TEMPO (テンポ)] ボタン (-P32)
- ⑲ [TAP (タップ)] ボタン (-P33)
- ⑳ [TEMPO (テンポ)] [▼] [▲] ボタン (-P32)

- ②① VOICE (音色) ボタン (-P16)
- ②② [SPLIT (スプリット)] ボタン (-P24)

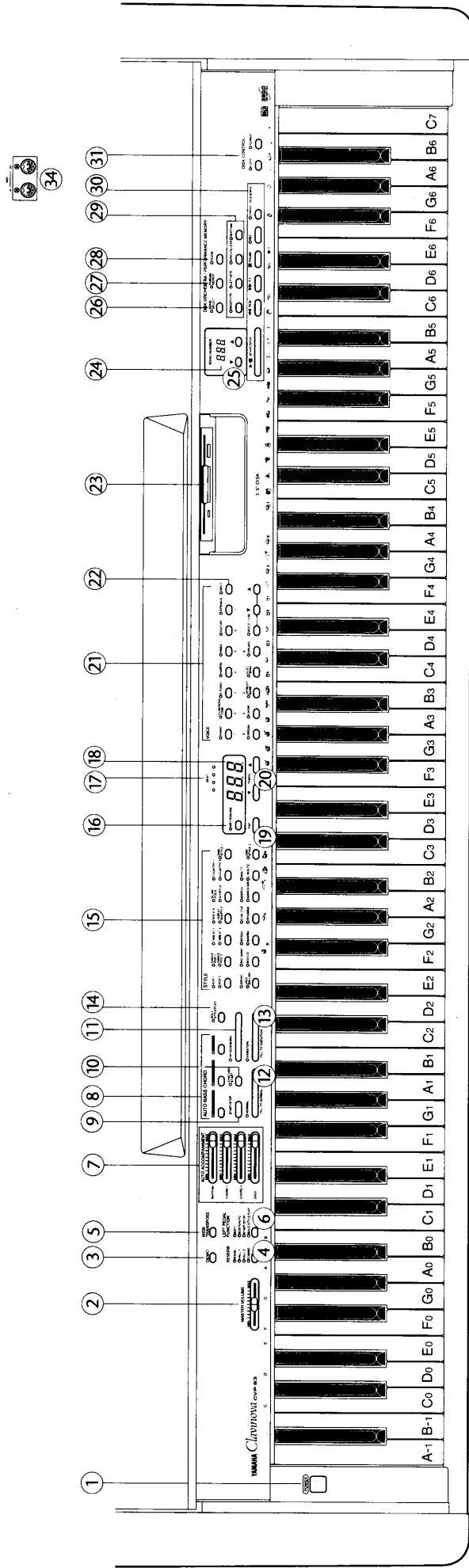
ディスク・オーケストラ/パフォーマン
メモリーのコントロール

- ②③ 3.5" DISK (ディスク) 挿入口 (-P60)
- ②④ SONG NUMBER (ソング・ナンバー) ディスプレイ (-P50)
- ②⑤ SONG NUMBER (ソング・ナンバー) [▼] [▲] ボタン (-P50)
- ②⑥ [SONG SELECT (ソング・セレクト)] ボタン (-P50)
- ②⑦ [PHRASE REPEAT (フレーズ・リピート)] ボタン (-P56)

- ②⑧ [GUIDE (ガイド)] ボタン (-P53)
- ②⑨ パート選択ボタン (-P52)
- ③⑩ [DISK ORCHESTRA/PERFORMANCE MEMORY (ディスク・オーケストラ/パフォーマンス・メモリー・コントロール)] ボタン (-P51, 65, 68)
- ③⑪ [DISK CONTROL (ディスク・コントロール)] ボタン (-P62, 73)
- ③⑫ レフト・ペダル (-P21)
- ③⑬ ダンパー・ペダル (-P20)
- ③⑭ OPTIONAL IN (オプション・イン) 端子 (-P84)
- ③⑮ AUX. OUT 端子 (-P84)
- ③⑯ MIDI 端子 (-P97)
- ③⑰ HEADPHONES (ヘッドフォン) 端子 (-P5)

各部のなまえ - CVP-83

10



- ① POWER (電源スイッチ) (→P4)
- ② MASTER VOLUME (マスター・ボリューム) (→P17)
- ③ [DEMO (デモ)] ボタン (→P12)
- ④ [REVERB (リバーブ)] ボタン (→P19)
- ⑤ [MIDI/TRANPOSE (トランスポーズ)] ボタン (→P27, 98)
- ⑥ [LEFT PEDAL FUNCTION (レフトペダル・ファンクション)] ボタン (→P21)

伴奏スタイル(リズム)、オート・ベース・コード [ABC] のコントロール

- ⑦ [RHYTHM (リズム)] ボリューム (→P37)
- [CHORD1, 2 (コード1, 2)] ボリューム (→P43)
- [BASS (ベース)] ボリューム (→P43)
- ⑧ [FULL KEYBOARD, SINGLE FINGER, FINGERED (フル・キーボード、シングル・フィンガー、フィンガー)] ボタン (→P41)

- ⑨ [START/STOP (スタート/ストップ)] ボタン (→P33)
- ⑩ [SYNCHRO START (シンクロ・スタート)] ボタン (→P35)
- ⑪ [INTRO/ENDING (イントロ/エンディング)] ボタン (→P34)
- ⑫ [FILL TO NORMAL (フィル・トゥー・ノーマル)] ボタン (→P36)
- ⑬ [FILL TO VARIATION (フィル・トゥー・バリエーション)] ボタン (→P36)
- ⑭ [SOLO STYLE PLAY (ソロ・スタイルプレイ)] ボタン (→P46)
- ⑮ [STYLE (スタイル)] ボタン (→P32)
- ⑯ [METRONOME (メトロノーム)] ボタン (→P38)
- ⑰ [BEAT (ビート)] ランズ (→P33)
- ⑱ [TEMPO (テンポ)] ディスプレイ (→P32)
- ⑲ [TAP (タップ)] ボタン (→P33)
- ⑳ [TEMPO (テンポ)] [▼] [▲] ボタン (→P32)

ディスク・オーケストラ/パフォーマンス・メモリーのコントロール

- ⑲ 3.5" DISK (ディスク) 挿入口 (→P60)
- ⑳ SONG NUMBER (ソング・ナンバー) ディスプレイ (→P50)
- ㉑ SONG NUMBER (ソング・ナンバー) [▼] [▲] ボタン (→P50)
- ㉒ [SONG SELECT (ソング・セレクト)] ボタン (→P50)
- ㉓ [PHRASE REPEAT (フレーズ・リピート)] ボタン (→P56)

- ㉔ [GUIDE (ガイド)] ボタン (→P53)
- ㉕ パート選択ボタン (→P52)
- ㉖ [DISK ORCHESTRA / PERFORMANCE MEMORY (ディスク・オーケストラ/パフォーマンス・メモリー・コントロール)] ボタン (→P51, 65, 68)
- ㉗ [DISK CONTROL (ディスク・コントロール)] ボタン (→P62, 73)
- ㉘ レフトペダル (→P21)
- ㉙ ダンパーペダル (→P20)
- ㉚ MIDI 端子 (→P97)
- ㉛ HEADPHONES (ヘッドフォン) 端子 (→P5)



デモ演奏

11



デモ演奏をきいてみましょう

CVP-87/85/83には音色紹介用に13曲、伴奏スタイル紹介用に12曲、計25曲のデモ演奏が入っています。きいてみましょう。

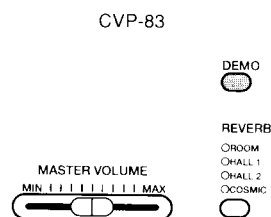
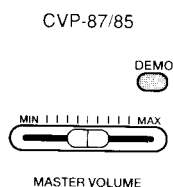
■STYLE = 音楽のスタイル

■VOICE = 音色

1

スタンバイする

[^{デモ}DEMO]^{スタイル}を押すと、^{ナイス}STYLEボタンとVOICEボタンのランプが点滅し、デモ演奏がスタンバイされます。



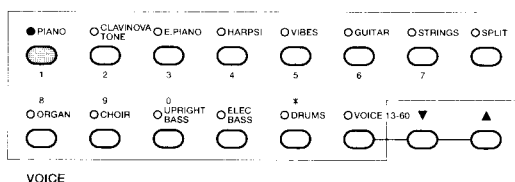
2

デモ演奏をスタートする

次の3つの方法があります。

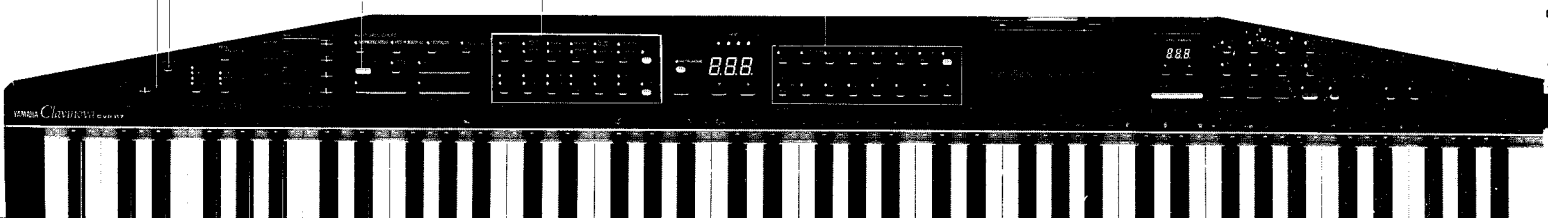
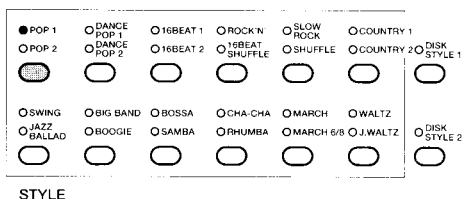
A. 音色紹介用の1曲をさく

ききたい音色のボタンを押します。デモ演奏がスタートし、演奏が終わるとスタンバイの状態に戻ります。



B. 伴奏スタイル紹介用の1曲をさく

ききたい伴奏のスタイル・ボタンを押します。デモ演奏がスタートし、演奏が終わるとスタンバイの状態に戻ります。

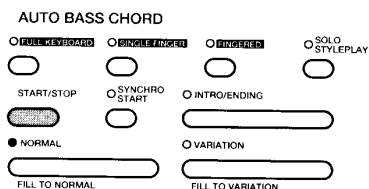




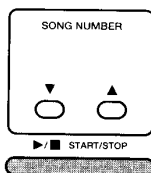
C. 全曲を続けていく(全曲リピート演奏)

スタート/ストップ

[START/STOP]を押します。



または



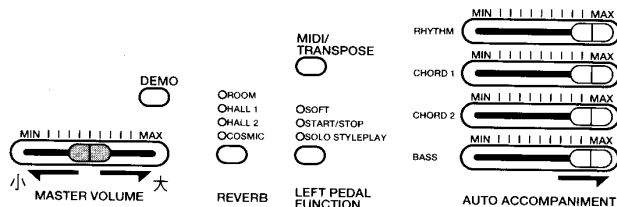
全曲が順番に演奏され、ストップするまで何度も繰り返し演奏されます。

3

音量を調節する

マスター・ボリューム

[MASTER VOLUME]で音量を調節します。



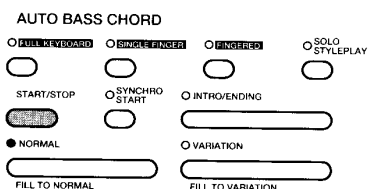
4

デモ演奏をストップする

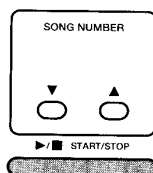
次の2つの方法があります。

A. [START/STOP]か演奏中のVOICEボタン/STYLEボタンを押す

演奏が止まり、スタンバイの状態に戻ります。

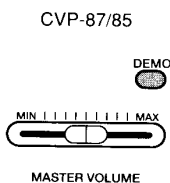


または

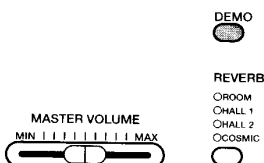


B. [DEMO]を押す

演奏が止まり、通常の状態に戻ります。



CVP-83



■ランダム演奏させたいとき…

デモ演奏をスタンバイする前に、応用機能U6でランダム演奏ONにすると、全曲をランダム(順不同)にリピート演奏させることもできます。

→応用機能U6(P85)

■演奏中に曲を飛ばして聞きたいとき…

別の曲の音色/スタイル・ボタンを押すと、その曲が演奏されます。全曲リピート演奏の場合はその曲まで先送りされ、そこからリピート演奏を続けます。

■MASTER VOLUME = 全体音量

■デモ演奏のテンポは変更できません。



デモ曲一覧表

ボイス	作曲家	題名
ピアノ	F.F.ショパン	練習曲作品25-1 「エオリアン・ハーブ」(別名「牧童の笛」)
クラビノーバ・トーン	D.フォスター	ウォーター・ファウンテン(「摩天楼はバラ色に」より)
ハーブシコード	J.S.バッハ	イタリヤ協奏曲BWV971第3楽章
ギター	I.アルベニス	アストゥリアス <small>ニューヨーク</small>
ストリングス	A.ピバルディ	合奏協奏曲「四季」より「秋」第1楽章
オルガン	J.S.バッハ	カンタータ第29番よりシンフォニア
クワイア	W.A. モーツァルト	「レクイエム」より「涙の日」

上記のデモ・ソング(ピアノ以外)はいずれも原曲からの抜粋です。
その他はいずれもヤマハ(株)によるオリジナル曲です。



演奏

このセクションでは最も基本的な音色選択をはじめとしてペダル操作、また演奏を盛り上げるさまざまな効果や機能について説明します。

15

1. 音色を選ぶ..... 16
2. 音量を調節する..... 17
3. キーボード・パーカッションで
リズム演奏をする..... 18
4. リバーブ(残響)をかける..... 19
5. ペダルを使う..... 20
6. 2つの音色をミックスする(デュアル機能)..... 22
7. 鍵盤を2つのパートに分けて弾く
(スプリット機能)..... 24
8. 音程を変える(トランスポーズ)..... 27
9. 他の楽器と音程を合わせる
(ピッチ・コントロール)..... 28
10. 演奏音の音像定位を変える(パン機能)..... 30



1. 音色を選ぶ

■各音色のご紹介…

音色／伴奏スタイル一覧表（→P124）及び「活用ガイド」P55の“音色のご紹介”をご参照ください。

■表示について…

VOICEボタンから指を離すとテンポ表示に戻ります。

■音色ナンバー12[DRUMS]について…

音色ナンバー12[DRUMS]を選ぶとキーボード・パーカッション用の打楽器音色が各鍵盤に割り当てられます。（→P18）

■[VOICE 13-60]を押すと…

直前に選ばれていた音色ナンバーになります。

■電源を入れたときは…

[VOICE 13-60]を押すと、音色ナンバー13「BRASS」になります。

■[▼][▲]を両方同時に押すと…

音色ナンバー13「BRASS」に戻ります。

■音色ナンバーをはやくアップ／ダウンさせたいとき…

[▼]または[▲]を押し続けるとナンバーが連続的に変化します。

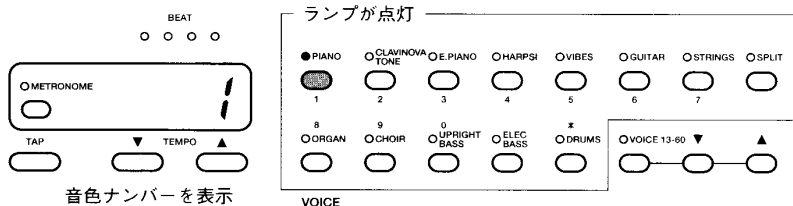
■表示について…

[▼][▲]から指を離すとテンポ表示に戻ります。

CVP-87/85/83にはパネルに表示されている基本12音色と、その他の音色として48種類、合計60種類の音色が用意されています。好きな音色を選んで演奏してみましょう。

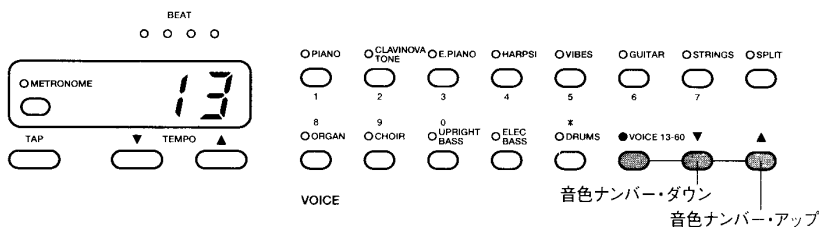
A 基本12音色(1-12)を選ぶ

使いたい音色のボタンを押します。



B その他の音色(13-60)を選ぶ

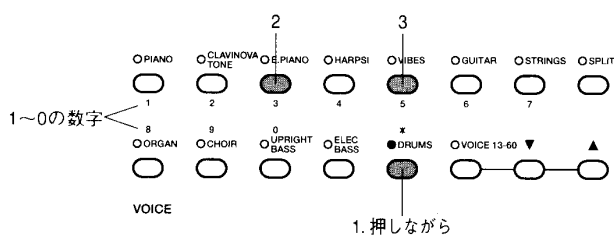
[VOICE13-60] の右側にある[▼][▲]を押してナンバーを選びます。





C. 二桁の数字で指定する

ドラムス
[DRUMS]を押しながらVOICEボタン[1]-[0]でナンバーを選びます。たとえば、音色ナンバー35の「PIANO SOFT」を選ぶときはピアノソフト[DRUMS]を押しながら音色ボタン[3]を押し、続けて[5]を押します。



■表示について…

[DRUMS]から指を離すとテンポ表示に戻ります。

■各音色の推奨音域…

CVP-87/85/83で演奏するときに、各音色にはそれぞれ音楽的に推奨される音域があります。

→各音色の推奨音域(→P112)

■最大同時発音数について…

P114をご覧ください。

2. 音量を調節する

マスター・ボリューム
[MASTER VOLUME]で音量を調節します。



■エクスプレッション・ペダルについて…

CVP-87では別売のエクスプレッション・ペダル(EP-1)で音量をコントロールすることもできます。(→P37)



シンバル等の響く音を途中でミュートする(消す)には

シンバルやトライアングルのように減衰時間の長い音を途中で切ることによって、リズムにめりはりを付けたり衝撃的な効果を演出することができます。

■シンバル音にはクラッシュ・シンバル(ライト)[A#2]、ライド・シンバル(カップ)[C#3]、ライド・シンバル[F#4]、クラッシュ・シンバル[G#4]の4種類がありますが、いずれもシンバル・オフ[A1]の鍵盤を押すと、音を途中で切ることができます。

■ハイハット・オープン[D#4]の音はハイハット・クローズ(ヘビー)[G#2]、ハイハット・クローズ(ノーマル)[C#4]またはハイハット・ペダル[A#3]の音でミュートできます。

■ブラッシュ(ロール)[F#2]の音はブラッシュ(ショット)[G#3]の音でミュートできます。

■トライアングル(オープン)[A#6]の音はトライアングル(クローズ)[G#6]の音でミュートできます。

4. リバーブ(残響)をかける

リバーブとは残響のことで、コンサートホールなどで演奏しているような臨場感を味わうことができます。CVP-87/85/83では4種類のリバーブ効果を好みの深さ(効果の度合)でかけることができます。

リバーブの種類を選ぶ

[REVERB]を押すごとにリバーブの種類が切り換わります。



REVERB

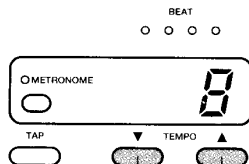
- ルーム： 部屋の中で弾いたときのような響きになります。
- ホール1： 小さなコンサート・ホールで弾いたときのような響きになります。
- ホール2： 大きなコンサート・ホールで弾いたときのような響きになります。
- コスミック： 音が左右に揺れ動くような響きが加わります。
- オフ(ランプ消灯)： リバーブはかかりません。

リバーブの深さを設定する

[REVERB]を押しながら、TEMPO[▼][▲]で深さを設定します。



REVERB



かかりが浅くなる かかりが深くなる

0から15の範囲で設定でき、標準値は8です。

■ちょっと覚えておこう…

* 同じリバーブでも音色によっては効果が深く(強く)感じたり、浅く(弱く)感じたりするものです。また、CVP-87/85/83では演奏時の音のバランスを考え、ベース音やリズム音には効果が浅くかかるように設計されています。なお、オプション・イン端子から入力した音には効果はかかりません。

* ヘッドフォンを使うときは、「ルーム」が耳にやさしくお勧めです。

■標準値に戻す…

[REVERB]を押しながら、TEMPO[▼]と[▲]を同時に押すと標準値の8に戻ります。

■電源を入れたときは…

リバーブの種類は「ルーム」、深さは標準値の8に設定されます。

■あとで役に立つ知識…

* [RHYTHM]、[CHORD 1]、[CHORD 2]、[BASS]パートごとに深さを設定することもできます。

→ 応用機能U2(P85)

* パフォーマンス・メモリーでは、トラックごとに深さを設定することもできます。(→P77)

REVERB

TEMPO

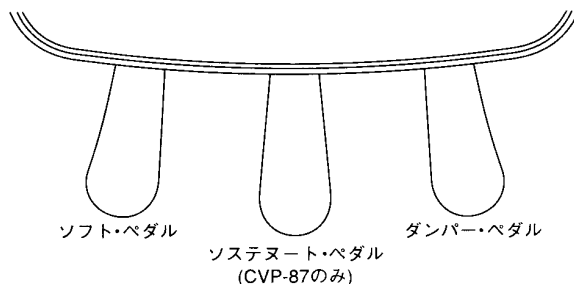
888

888



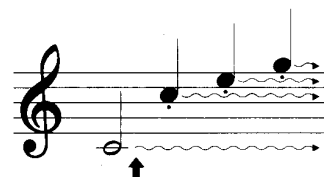
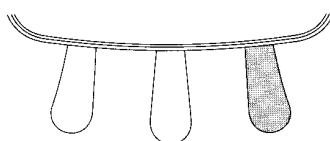
5. ペダルを使う

CVP-87には3本、CVP-85/83には2本のペダルがついています。



ダンパー・ペダル(右のペダル)

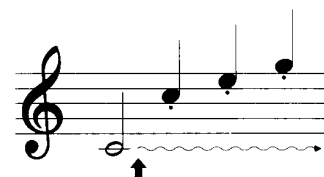
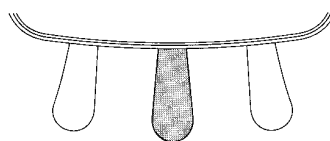
このペダルを踏むと、鍵盤から指を離しても音を長く響かせることができます。



ここでダンパー・ペダルを踏むと、このとき押えていた鍵盤とそのあと弾いた音すべてに余韻がつく

ソステヌート・ペダル(まん中のペダル、CVP-87のみ)

このペダルを踏んだときに押えていた鍵盤の音だけを、鍵盤から指を離しても長く響かせることができます。ペダルを踏んだあとに弾いた音には効果はかかりません。



ここでソステヌート・ペダルを踏むと、このとき押えていた鍵盤の音だけに余韻がつく

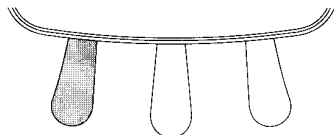
*CVP-85/83でも左のペダルの機能を切り換えてソステヌート・ペダルとして使うことができます。

■CVP-87のダンパー・ペダルは連続可変式(踏み込むほど余韻が長くなる)になっています。これをON/OFFスイッチ式にすることもできます。
→応用機能U10(P85)



ソフト・ペダル(左のペダル)

このペダルを踏むと、音量がわずかに下がり、音の響きが柔らかくなります。
このペダルは、他のいろいろな機能に使うこともできます。



■ダンパー／ソステヌート／ソフト・ペダルとも「DRUMS」音色には効きません。

左のペダルの機能を切り換える

レフト・ペダル・ファンクション

[LEFT PEDAL FUNCTION]を押すごとに左のペダルの機能が切り換わります。

CVP-87

MIDI/
TRANPOSE



●SOFT
○START/STOP
○SOLO STYLEPLAY



LEFT PEDAL
FUNCTION

CVP-85/83

MIDI/
TRANPOSE



●SOFT
○SOUSTENUTO
○START/STOP
○SOLO STYLEPLAY



LEFT PEDAL
FUNCTION

ソフト:

ソフト・ペダルになります。電源を入れたときはいつもこれになります。

ソステヌート(CVP-85/83のみ):

ソステヌート・ペダルになります。

*[SOLO STYLEPLAY]がONのときは選べません。

スタート/ストップ:

[START/STOP]と同じ機能になります。(→P34)

ソロ・スタイルプレイ:

[SOLO STYLEPLAY]がONのとき、ソロ・スタイルプレイのON/OFFがこのペダルでできます。[SOLO STYLEPLAY]がOFFのときは選べません。(→P46)



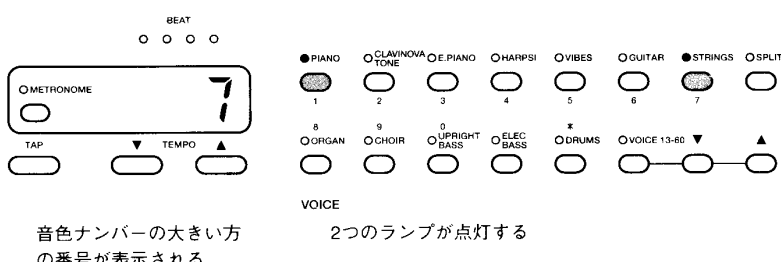
6. 2つの音色をミックスする(デュアル機能)

1つの音色を選んで演奏するだけでなく、2つの音色を重ねて演奏することもできます。ソロやサビなどで厚みのある音がほしいときなどたいへん効果的です。また、2つの音色の音量バランスも変えられます。

組み合わせを選ぶ

A. 基本12音色どうしの組み合わせ

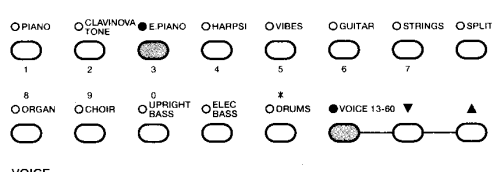
組み合わせたい2つのVOICEボタンを同時に押します。



B. 基本12音色とその他の音色(13-60)の組み合わせ

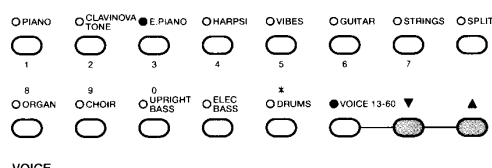
1

組み合わせたいVOICEボタンと[VOICE 13-60]を押します。



2

[▼][▲]を押して、その他の音色(13-60)の1つを選びます。



■1音色の状態に戻すには…

1音色だけを選んでください。(▼[▲]以外のVOICEボタンを押します。)
[DRUMS]音色とのデュアルはできません。
また、その他の音色(13-60)どうしを組み合わせることもできません。
スプリット機能使用時のデュアルはできません。

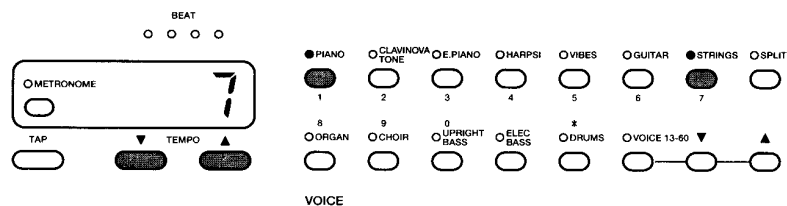
TEMPO

① ② VOICE

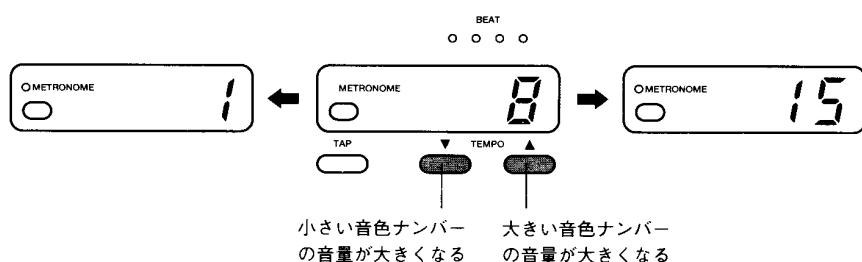


2つの音色の音量バランスを設定する

2つのVOICEボタンを同時に押しながらTEMPO[▼][▲]で音量バランスを設定します。



TEMPOディスプレイを見ながら1～15の範囲で音量バランスを設定できます。



■電源を入れたときは…

同じ音量(標準値の8)になっています。

■バランスを同じ音量(8)に戻す…

2つのVOICEボタンを同時に押しながらTEMPO[▼]と[▲]を同時に押します。

7. 鍵盤を2つのパートに分けて弾く (スプリット機能)

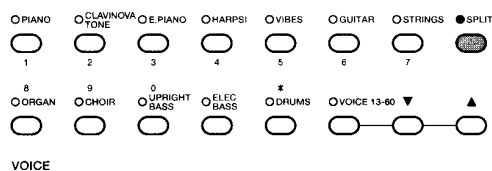
■最初の設定は…

電源を入れたときは、スプリット・ポイントがF \sharp 2です。低音部には「UPRIGHT BASS」の音色が、高音部にはスプリット機能をONしたときに選ばれていた音色が割り当てられます。

鍵盤を好きな位置で低音部と高音部に分け、別々の音色を演奏することができます。

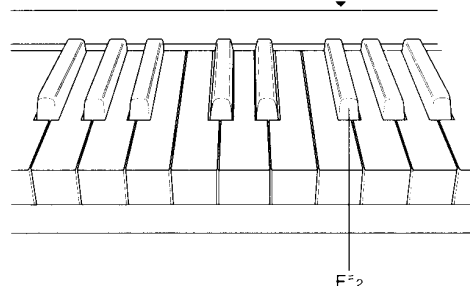
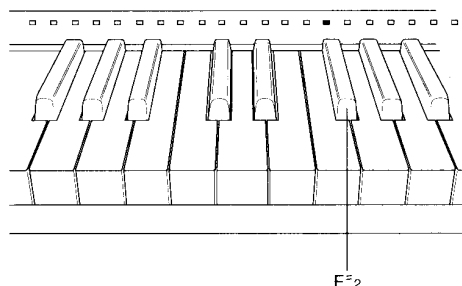
スプリット機能をONにする

スプリット
[SPLIT]を押します。



CVP-87ではスプリット・ポイント(低音部と高音部の境となる鍵盤)の鍵盤ガイドランプがつく

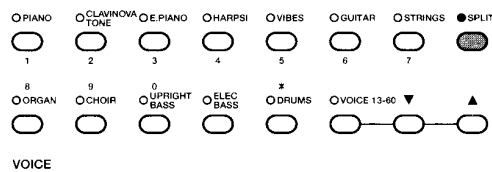
CVP-85/83



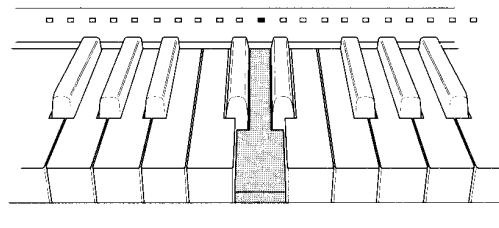
スプリット・ポイントを設定する

低音部と高音部は好きな位置(鍵盤)で分けることができます。

[SPLIT]を押しながら、スプリット・ポイントにしたい鍵盤を押して指定します。(スプリット・ポイントの鍵盤は低音部に含まれます)。



CVP-87ではスプリット・ポイントの鍵盤ガイドランプがつく

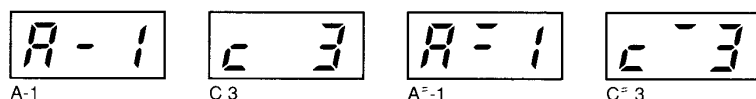


SPLIT

88KEYS

操作中、TEMPOディスプレイにスプリット・ポイントの鍵盤名が表示されます。

ディスプレイ表示の例

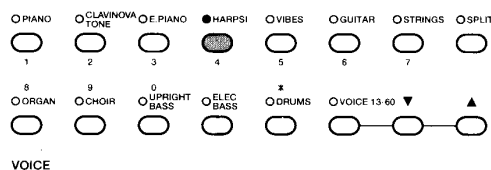


それぞれの音色を選ぶ

低音部と高音部にそれぞれ好きな音色を割り当てられます。

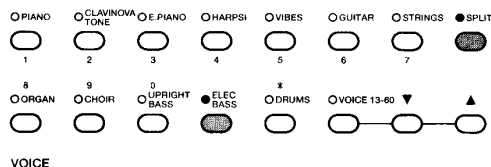
1 高音部の音色を選ぶ

通常の音色選択(→P16)と同じように^{ボイス}VOICEボタンで選びます。



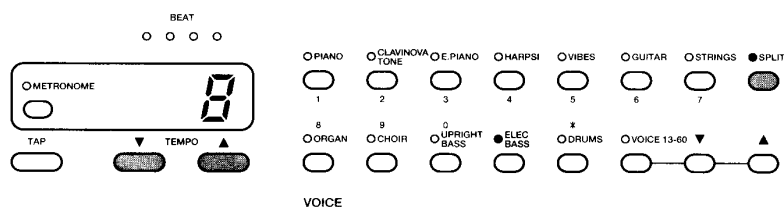
2 低音部の音色を選ぶ

[SPLIT]を押しながら、VOICEボタンを押して選びます。

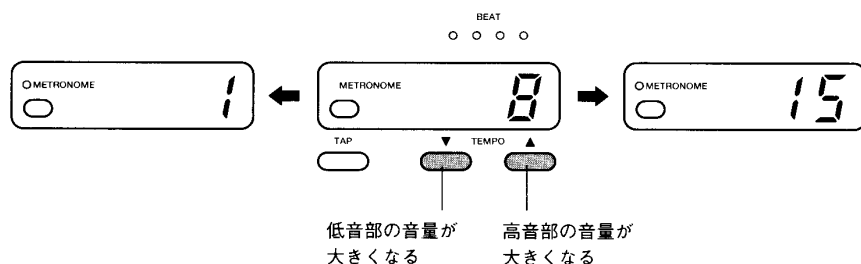


音量バランスを設定する

[SPLIT]を押しながら、^{テンポ}TEMPO[▼][▲]で設定します。



TEMPOディスプレイを見ながら1～15の範囲で音量バランスを設定できます。



■電源を入れたときは…
同じ音量(標準値の8)になっています。

■バランスを同じ音量(8)に戻す…
[SPLIT]を押しながら、TEMPO[▼]と[▲]を同時に押します。



■電源を入れたときは…

高音部にダンパー・ペダルが効きます。

■スプリット以下のオクターブ・アップについて…

低音部に[DRUMS] (音色No.12)、[BASS] (音色No.10,11,49,50,51,52)以外の音色が選ばれた場合は、自動的に1オクターブ高い音で出るようになっていきます。これをもとの音程に戻すこともできます。→応用機能U7(P85)

ダンパー・ペダルの効く範囲を設定する

ダンパー・ペダルの効く範囲を、高音部だけ、低音部だけ、両方、の中から選ぶことができます。

A.高音部にだけ効くようにする

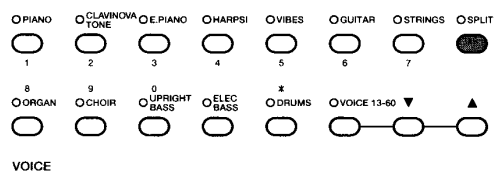
スプリット
[SPLIT]を押しながら、ダンパー・ペダルを踏みます。

B.低音部にだけ効くようにする

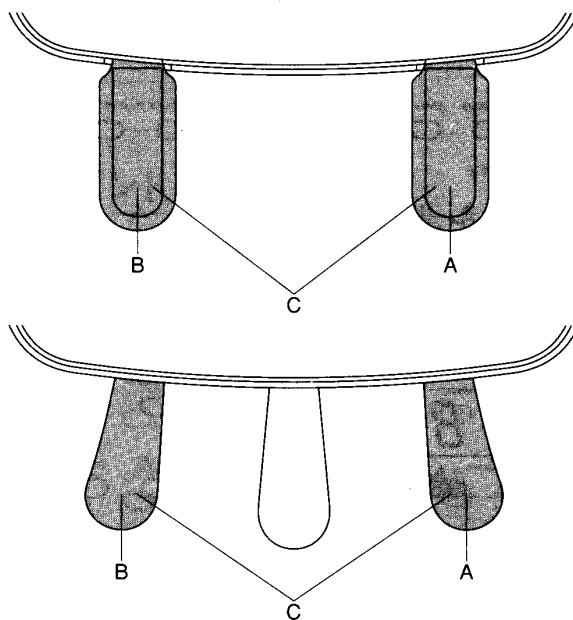
[SPLIT]を押しながら、レフト・ペダル(ソフト・ペダル)を踏みます。

C.高音部、低音部ともに効くようにする

[SPLIT]を押しながら、ダンパー・ペダルとレフト・ペダル(ソフト・ペダル)の両方を踏みます。



CVP-87の場合



ソフト、ソステヌートは高音部、低音部ともに効きます。

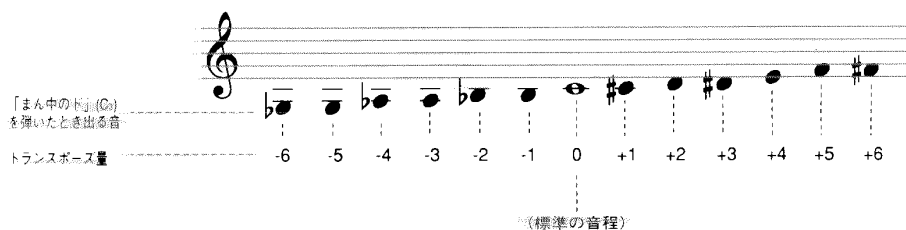


8. 音程を変える(トランスポーズ)

弾く鍵盤を変えずに、他の楽器や歌う人の声の高さにキーを合わせたり、演奏している曲を移調することができます。

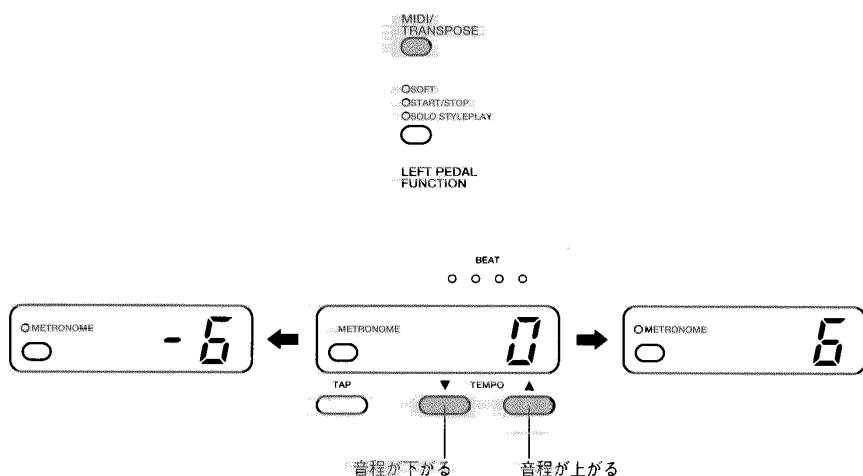
トランスポーズ量について

-6半音～+6半音の範囲でトランスポーズ量を設定できます。つぎの図はまん中のド(C3)を弾いたときにトランスポーズ量によって何の音が出るかを示しています。たとえば、トランスポーズ量を"+5半音"に設定すると、ド(C3)を弾いたときにファ(F3)の音が出ることになり、言い換えればハ長調の弾き方でハ長調の演奏ができることになります。



トランスポーズ量を設定する

ミディ・トランスポーズ [MIDI/TRANPOSE] を押しながら、テンポ [TEMPO] でトランスポーズ量を設定します。操作中、TEMPO ディスプレイにトランスポーズ量が表示されます。



■電源を入れたときは…
標準の音程になっています。

■標準の音程に戻すには…
[MIDI/TRANPOSE] を押しながら、TEMPO[▼]と[▲]を同時に押します。

■トランスポーズをかけた場合の発音域について…

トランスポーズ量によって、もとの88鍵の最高音(C7)より高い発音域は1オクターブ下の音で、もとの88鍵の最低音(A-1)より低い発音域は1オクターブ上の音で発音します。

[DRUMS]音色にはトランスポーズはかかりません。

MIDI/TRANPOSE

TEMPO



9. 他の楽器と音程を合わせる (ピッチ・コントロール)

■周波数の小数点以下の値について…

ディスプレイのドットによって次のように4分割で表示されます。

4 4 0 (なし) : 0.00~0.24Hz

4 4 0 : 0.25~0.49Hz

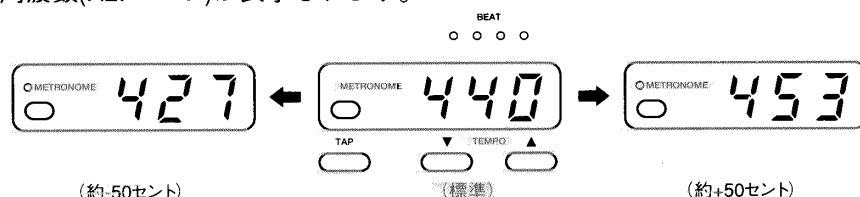
4 4 0 : 0.50~0.74Hz

4 4 0 : 0.75~0.99Hz

音程(ピッチ)を微調整することができます。合奏のときなどに他の楽器と音程を正確に合わせることができます。

ピッチ・コントロール量について

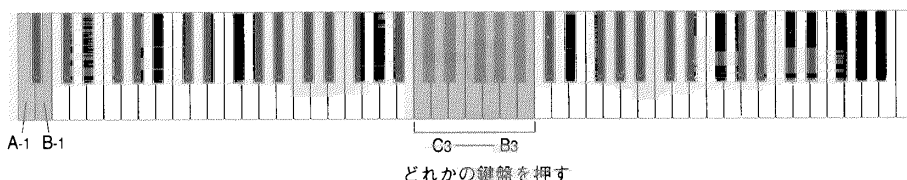
±約50セントの範囲を約1.2セントきざみ、または約1ヘルツきざみで設定できます。(100セント=半音)。設定中はTEMPOディスプレイにラの音(A3)の周波数(Hz:ヘルツ)が表示されます。



1.2セントきざみの合わせ方

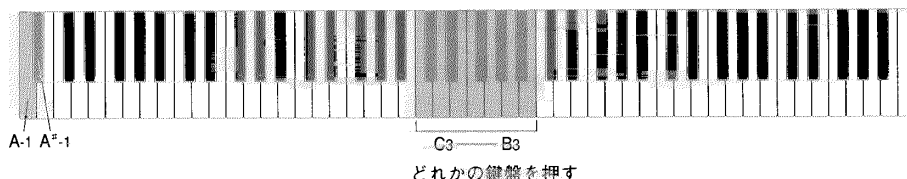
音程を上げる

一番左端の白鍵2つを同時に押しながら、C3~B3のどれかの鍵盤を押します。1回押すごとに約1.2セントずつ音程が上がります。音を聞きながらこきざみに音程を上げて他の楽器と合わせてください。



音程を下げる

一番左端の白鍵と黒鍵を同時に押しながら、C3~B3のどれかの鍵盤を押します。1回押すごとに約1.2セントずつ音程下がります。音を聞きながらこきざみに音程を下げて他の楽器と合わせてください。



A-1—B-1

C3—B3

TEMPO

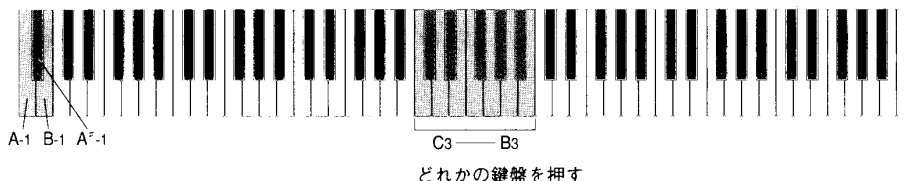
888

888



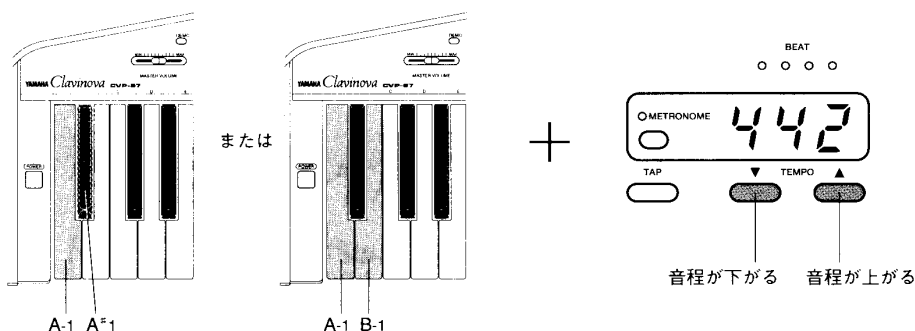
標準音程に戻す

一番左端の白鍵2つと黒鍵1つを同時に押しながら、C3～B3のどれかの鍵盤を押します。標準のA3=440Hzに戻ります。



1ヘルツ(Hz)きざみの合わせ方

一番左端の白鍵と黒鍵、または一番左端の白鍵2つを同時に押しながら、TEMPO[▼]または[▲]を押すと、約1ヘルツずつ音程を上げたり下げたりすることができます。



■ちょっと覚えておこう…

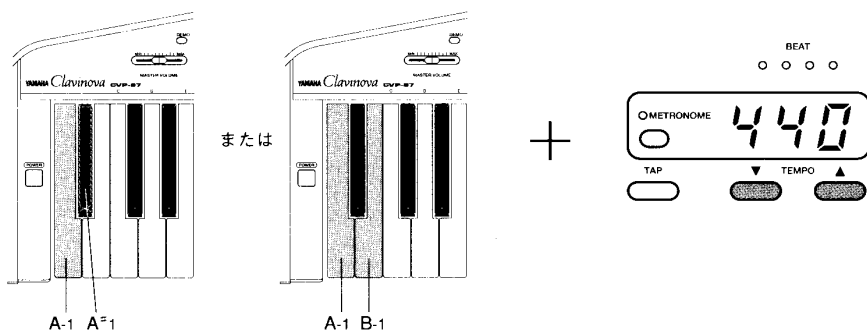
TEMPO[▼][▲]を0.5秒以上押し続けると、値が連続的に変化します。

- ・弱く押すとゆっくり変化
- ・強く押すと速く変化

■[DRUMS]音色には、ピッチ・コントロールは効きません。

標準音程に戻す

一番左端の白鍵と黒鍵、または一番左端の白鍵2つを同時に押しながら、TEMPO[▼]と[▲]を同時に押すと標準のA3=440Hzに戻ります。



■電源を入れたときは…

標準のA3=440Hzになっています。

■各鍵チューニングについて…

各鍵盤ごとに音程を微調整することもできます。→応用機能U3(P85)



10. 演奏音の音像定位を変える(パン機能)

■あとで役に立つ知識…

パフォーマンスメモリーで多重録音する場合、トラックごとに音像定位を変えて録音するとステレオ感のあるサウンドを作り上げることができます。

■[DRUMS]音色について…

[DRUMS]音色は楽器ごとに特定の定位が設定されており、音像定位を変える操作をしても変わりません。

■ピアノ音色について (CVP-87) …

CVP-87のピアノ音色(音色ナンバー1、34、35)と「ORGAN(音色ナンバー8)」 「FULL ORGAN(音色ナンバー28)」は、電源を入れたときにステレオ・サンプリングによる自然な定位が設定されるようになっており、定位の設定を変えるとモノラル音色になります。

■電源を入れたときは…

下記の音色(*印)以外は、すべてキー・スケールパン(低い音ほど左寄りから、高い音ほど右寄りから聞こえる設定)になっています。

CVP-87

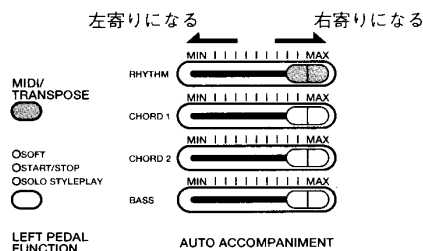
- *音色ナンバー1 [PIANO]
- *音色ナンバー34 [PIANO BRIGHT]
- *音色ナンバー35 [PIANO SOFT]
- *音色ナンバー8 [ORGAN]
- *音色ナンバー28 [FULL ORGAN]
- *音色ナンバー12 [DRUMS]

CVP-85/83

- *音色ナンバー12 [DRUMS]

演奏音が左右のどのあたりから聞こえるようにするか(音像定位)を設定できます。

ミディ・トランスポーズ [MIDI/TRANSPPOSE]を押しながら、リズム [RHYTHM]ボリュームを動かして音像定位を設定します。



テンポ TEMPOディスプレイを見ながら次の範囲で設定できます。

